

ミニ・ラグビー ルール問題（2）

○ 正解 × 不正解 △ どちらでもある

I. 基本的事項

1. 蹴られたボールがダイレクトタッチではなくタッチに出た。ボールはデッドとなる。

判定 ○ × △

罰則

2. ドロップキックで空振りをした。これはノックオンではない。

判定 ○ × △

罰則

3. ミニではフリーキックとペナルティキックは同じ扱いとなる。

判定 ○ × △

罰則

4. インゴール内でどちらのプレーヤーがグラウンディングしたかが判らなかった場合は攻撃していた側の5メートルスクラムとなる。

判定 ○ × △

罰則

5. ミニではラインオブタッチの終了点はタッチラインから8メートルである。

判定 ○ × △

罰則

6. ミニでもペナルティを得たとき、スクラムに変更できる。

判定 ○ × △

罰則

7. ラグビーにもサッカーと同じようにイエローカード，レッドカードがある。

判定 ○ × △

罰則

8. タッチジャッジはボールが投入されたらフラッグを下げなければならない。

判定 ○ × △

罰則

9. タッチジャッジがフラッグをタッチラインと直角に上げるのは不正なプレーがあったときである。

判定 ○ × △

罰則

10. タッチジャッジは不正なプレーが行われたときは直ちにフィールドに入り，レフリーと相談をしなければならない。

判定 ○ × △

罰則

II. オフサイド

1. ミニではスクラムのとき，BKのオフサイドラインはスクラムが行われた地点から3メートルである。

判定 ○ × △

罰則

2. ミニではスクラムのとき，ハーフはスクラムに手をかけていなければならない。手をかけていればオフサイドにはならない。

判定 ○ × △

罰則

3. ミニではラインアウトのとき、BKのオフサイドラインはラインオブタッチより5メートルである。

判定 ○ × △

罰則

4. ノックオンしたボールを前方にいる味方プレーヤーが触れればノックオンオフサイドとなる。

判定 ○ × △

罰則

5. モール・ラックでのオフサイドラインは組みあっているプレーヤーの後方の足の後ろである。

判定 ○ × △

罰則

6. モール・ラックでは組みあっているプレーヤーに手をつけていればオフサイドとはならない。

判定 ○ × △

罰則

7. キックされたボールが前にいる味方プレーヤーに当たった場合はオフサイドとなりペナルティである。

判定 ○ × △

罰則

8. キックされたとき、前にいる味方プレーヤーはオフサイドであり、一歩でも前方に動いてはならない。

判定 ○ × △

罰則

9. 味方がキックをし、ボールの着地点より10メートル以内にいる味方プレーヤーはオフサイドである。

判定 ○ × △

罰則

10. 前述の場合、相手側のいかなる行為によってもオンサイドとはならない。

判定 ○ × △

罰則